

# 日本語における漢字を媒介とした意味借用の研究

キーワード[日本語学, 歴史言語学, 言語接触]

助教 ジスク・マシュー・ヨセフ

図1: 意味借用のプロセス

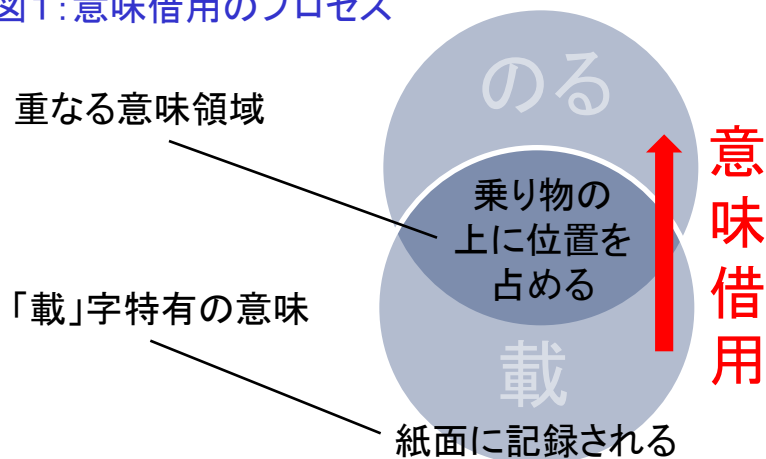
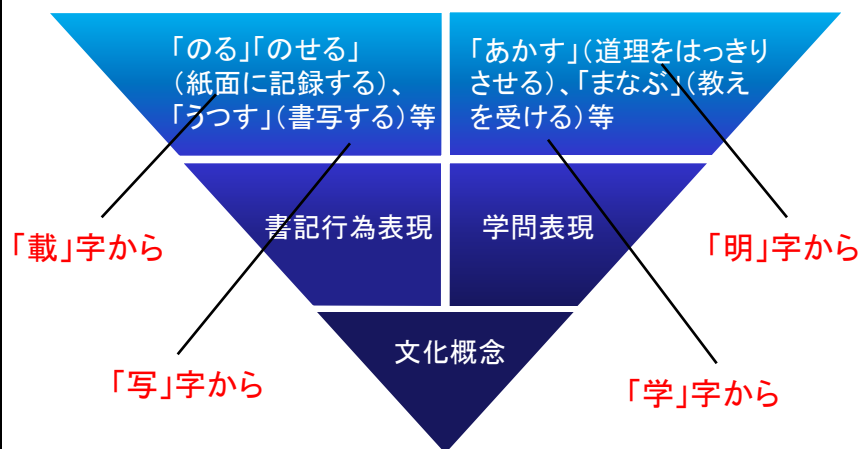


図2: 意味借用の起こりやすい意味領域



内容:

日本語における漢字を媒介とした意味借用という現象を研究している。意味借用とは、外国語に見られる意味用法を模倣し、自国語の意味用法を拡張させる現象を指す。例えば、日本語では「新聞に載る」のように、「のる」という言葉を「紙面に記録される」の意味で使うことがあるが、この意味は本来「のる」にないもので、漢字の「載」から取り入れられたものである。「のる」は本来、「動物や乗り物の上に位置を占める」という意味しか持たなかったが、平安時代において、同じ意味を持つ「載」の字の訓として定着したことにより、「載」字特有の用法であった「紙面に記録される」まで拡張して用いられるようになった—つまり、「載」から「紙面記録される」の意味を借用したのである。

このような漢字を媒介とした意味借用の例は、語彙借用のように目立たないため、その存在については気づかれてこなかったが、実際、「のる」のような書記行為をあらゆる表現をはじめとし、学問、仏教、政治といった大陸からもたらされた文化概念をあらゆる表現において意味借用が起こりやすい。この現象を追究することは、日本語史はもちろん、言語接触における漢字のような文字が持つ役割を明らかにするためにも重要な課題である。

分野: 学部共通(英語教育・異文化間理解)  
専門: 日本語学、歴史言語学、言語接触論

E-mail : zisk@yz.yamagata-u.ac.jp

Tel : 0238-26-3340

Fax : 0238-26-3340

HP : <http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/international/>

